２０２７年度（令和９年度）
東北大学法科大学院入学試験　一般選抜（前期）・法曹基礎課程特別選抜（開放型）
試験科目：公法（憲法）

以下の問題１、問題２および問題３についてすべて答えなさい。

問題１

日本生まれで特別永住者資格を持つ韓国籍のＸは、保健師としてＹ県の職員（地方公務員）となることを希望していた。しかし、Ｙ県では、県の職員の採用にあたり、日本国籍を有することを要件としていたため、Ｘは、日本国籍がないことを理由に、Ｙ県の職員採用試験の受験を拒否された（以下、本件受験拒否という）。

小問１　本件受験拒否を憲法上認める立場としてどのようなものがあるか、論じなさい。

小問２　本件受験拒否を憲法上認めない立場としてどのようなものがあるか、論じなさい。

問題２

子どもの教育の内容を決定する権能が誰に帰属するかについて、いわゆる国家教育権説と国民教育権説がある。

小問１　旭川学テ事件最高裁判決（最大判昭和 51・5・21 刑集 30 巻 5 号 615 頁）は、この対立をどのように捉えているといえるか、説明しなさい。

小問２　本判決は、教育内容に対する国家的介入の限界をどのように考えているか、説明しなさい。

問題３

小問１　国政調査権の性格と範囲について説明しなさい。

小問２　国政調査権の行使の限界について、司法権との関係および検察権との関係から説明しなさい。